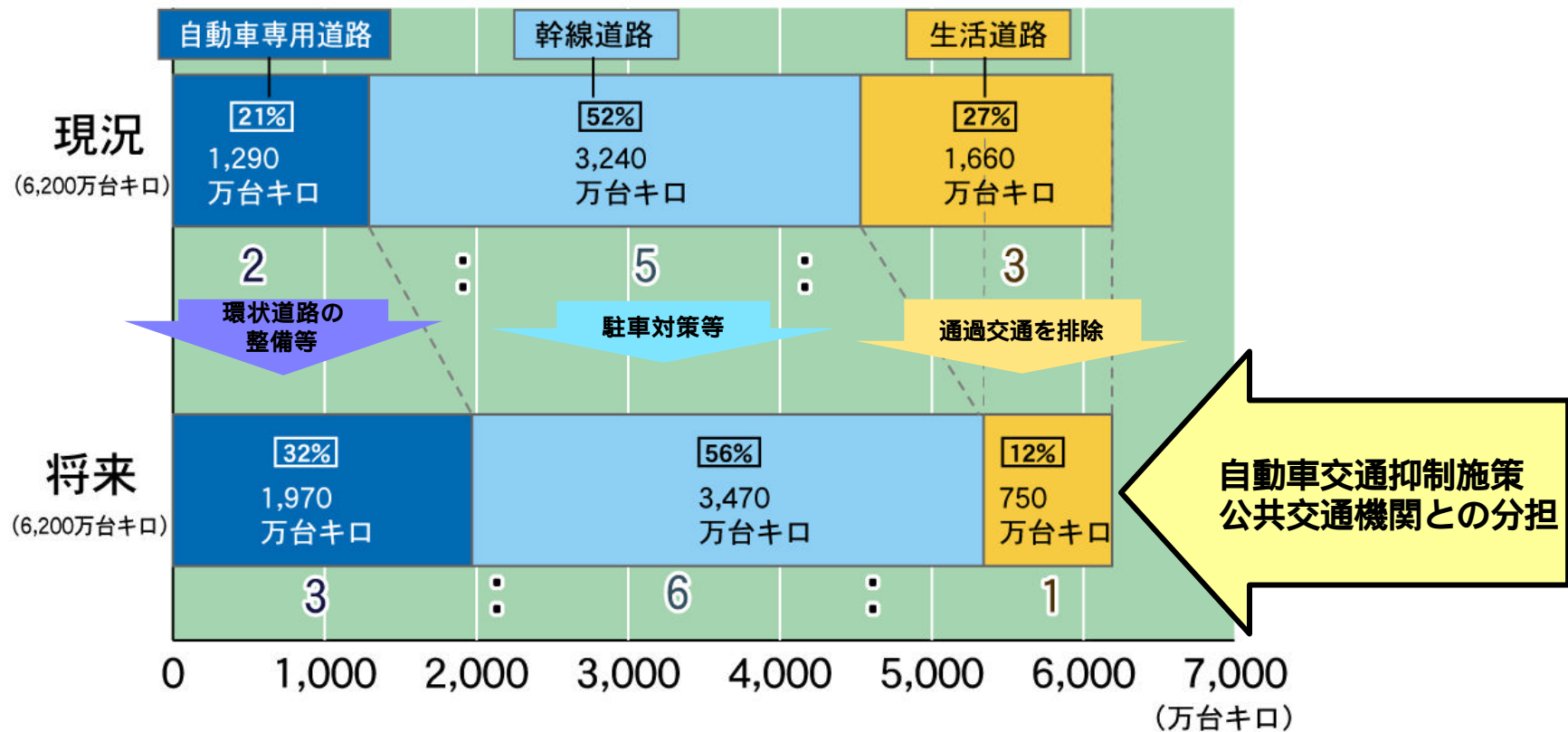


「車の移動性」と「人の快適性」の両立 道路の機能分化の徹底

自専道と幹線道路を最大限効率的に使うことにより自動車の移動性を向上させるとともに、中心市街地や住宅地をコミュニティゾーンとして復活させることは可能。

昼12時間における道路利用の現況と将来 (東京23区の例)



出典：道路交通センサス等

コミュニティゾーンの整備 ~ 生活道路の復権 ~

周辺幹線道路の整備や地域の合意を前提として、中心市街地や住宅地については構造及び規制により通過交通を排除し、ゾーン全体を人中心の空間とする「コミュニティゾーン」を導入する。

< 車両の速度抑制 >



< 歩行環境 たまり空間の整備 >



提 案

今後の道路行政の転換の方向として、道路の機能分化を徹底し、「車の移動性」と「人の快適性」の両立を打ち出すことについて。

アウトカム指標に基づく選別投資と、料金政策・駐車対策などの交通マネジメントにより、移動性向上を緊急に達成することについて。

あわせて、生活道路から通過交通を排除することにより、中心市街地や住宅地をコミュニティゾーンとすることについて。